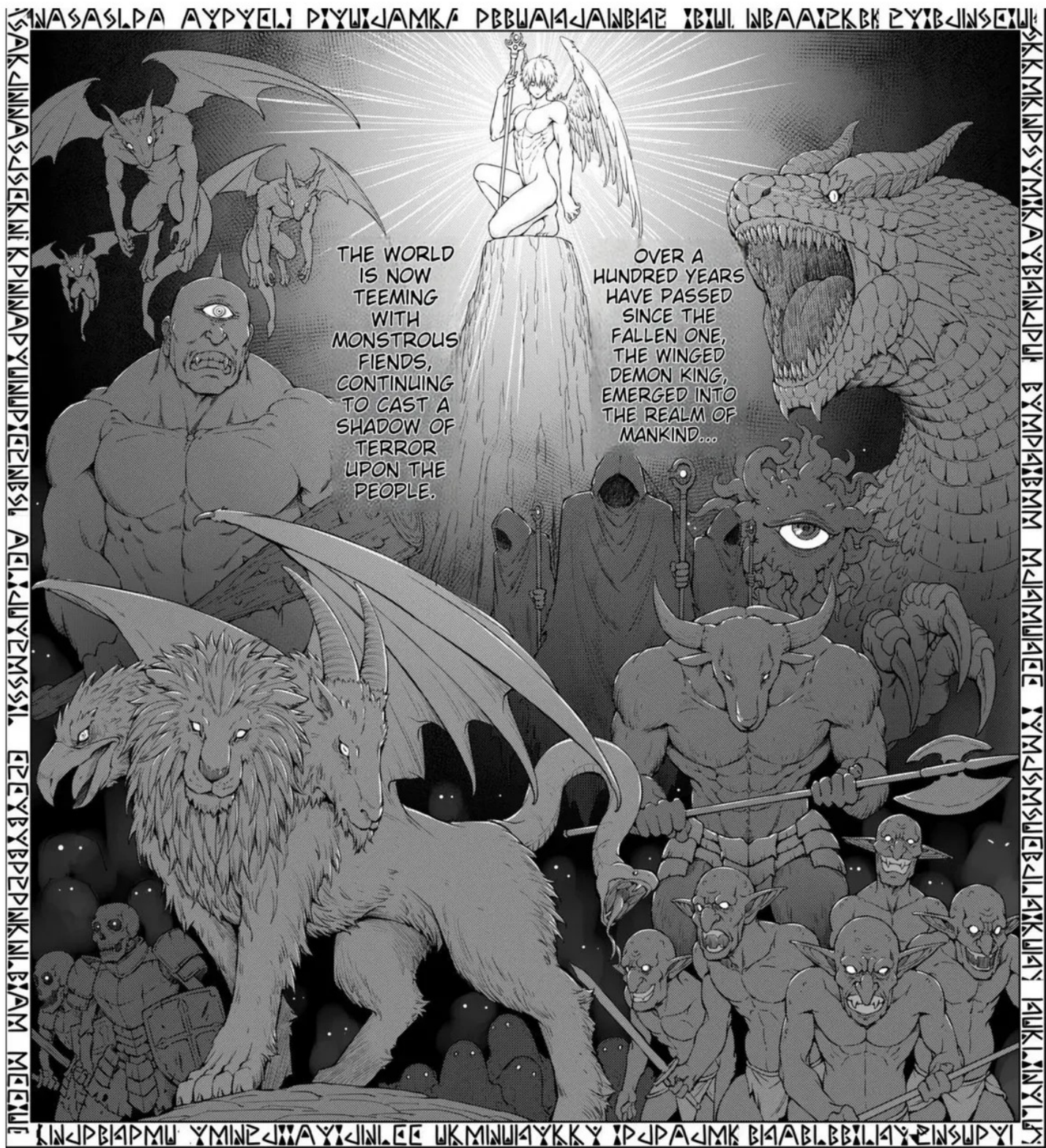




THE  
SECRET  
NIGHT  
OF THE  
KNIGHT  
AND  
THE  
PRINCE





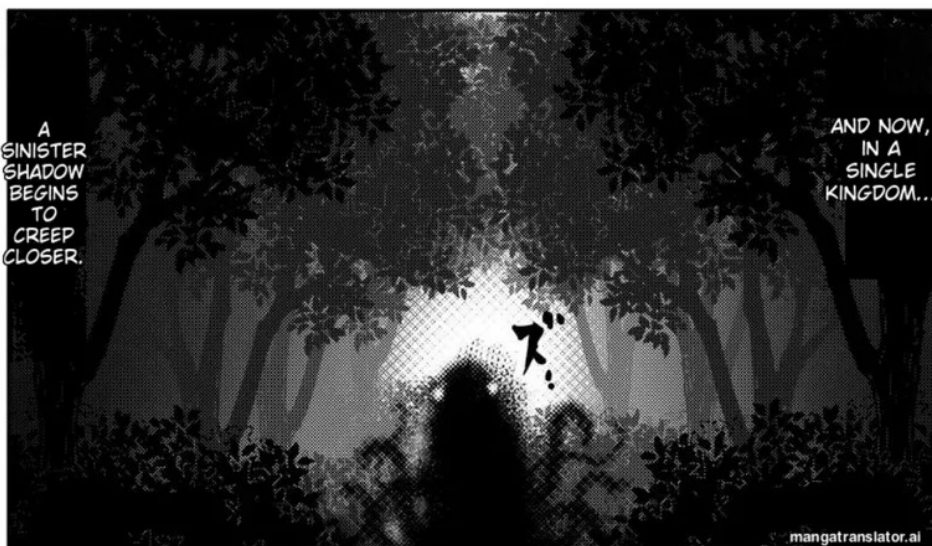


THE WORLD  
IS NOW  
TEEMING  
WITH  
MONSTROUS  
FIENDS,  
CONTINUING  
TO CAST A  
SHADOW OF  
TERROR  
UPON THE  
PEOPLE.

OVER A  
HUNDRED YEARS  
HAVE PASSED  
SINCE THE  
FALLEN ONE,  
THE WINGED  
DEMON KING,  
EMERGED INTO  
THE REALM OF  
MANKIND...

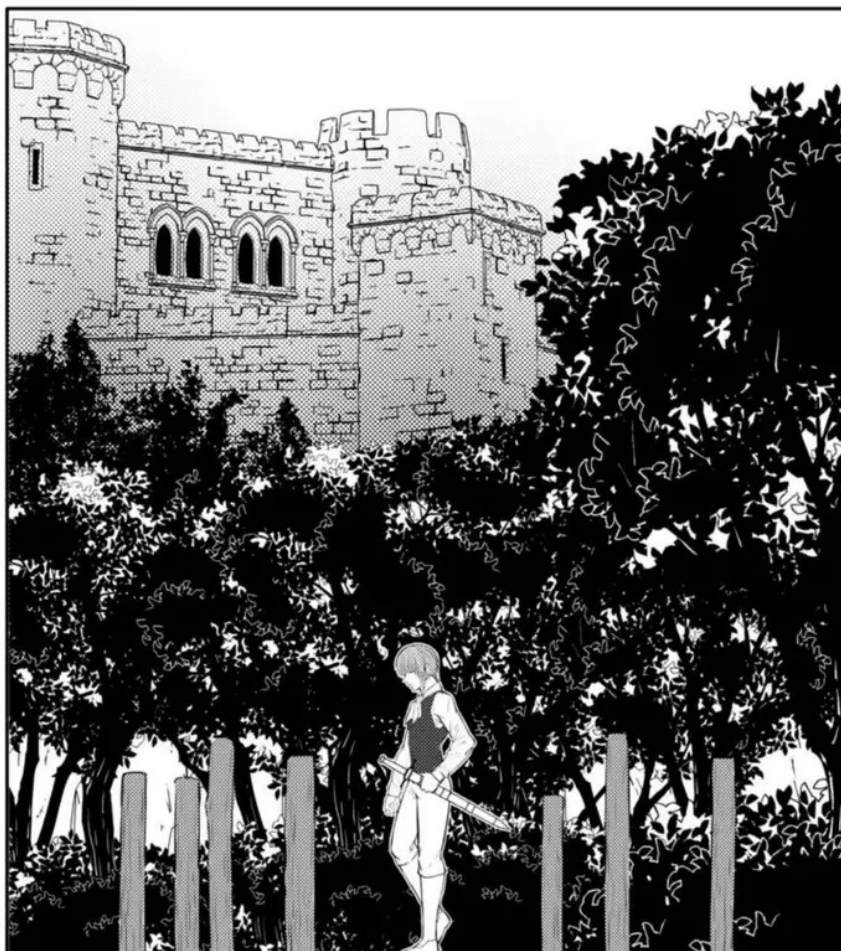


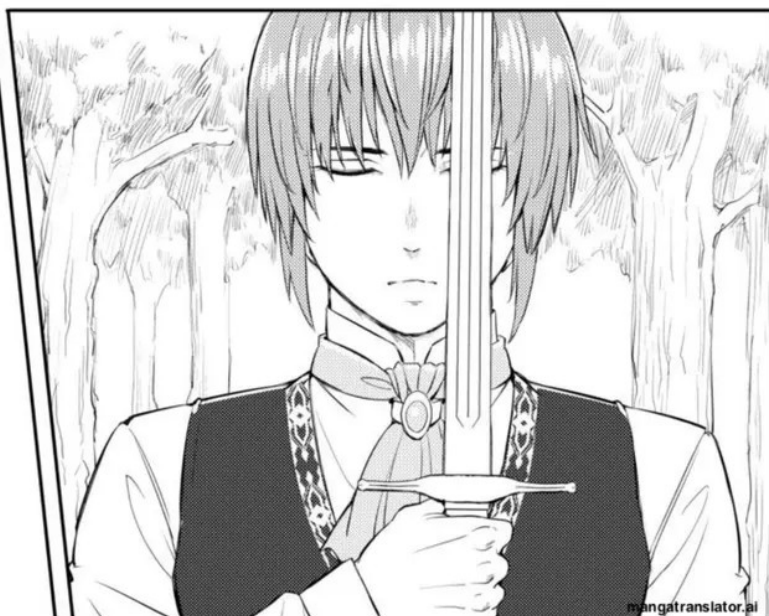
A  
SINISTER  
SHADOW  
BEGINS  
TO CREEP  
CLOSER.



AND NOW,  
IN A  
SINGLE  
KINGDOM...













WHEN YOU  
HESITATE IN  
YOUR  
SWORDPLAY...

あっと！



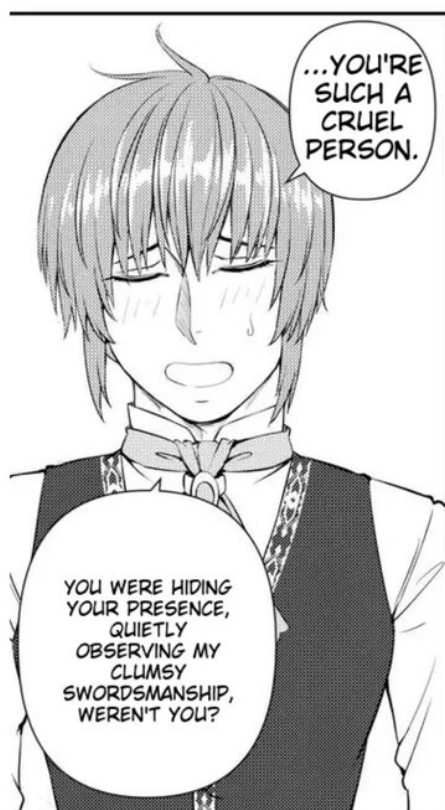
AH!

ズル！



WOW!

JUST  
A  
BIT...



...YOU'RE  
SUCH A  
CRUEL  
PERSON.

YOU WERE HIDING  
YOUR PRESENCE,  
QUIETLY  
OBSERVING MY  
CLUMSY  
SWORDSMANSHIP,  
WEREN'T YOU?



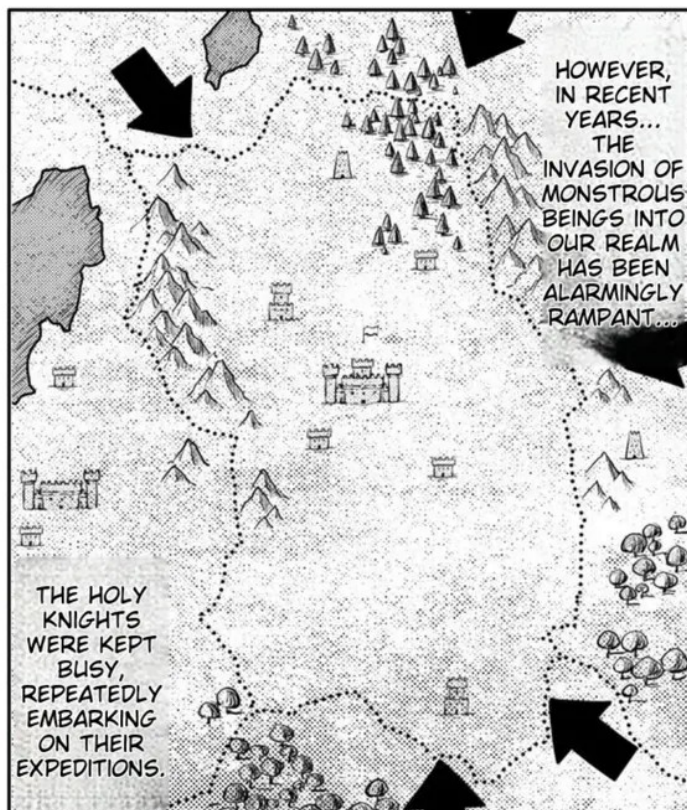
UH...  
HELLO,  
REYNAULD.

いつの  
間に...

YOU CAN'T  
CUT  
THROUGH  
EVERYTHING,

CAN  
YOU,  
PRINCE  
FERIL?







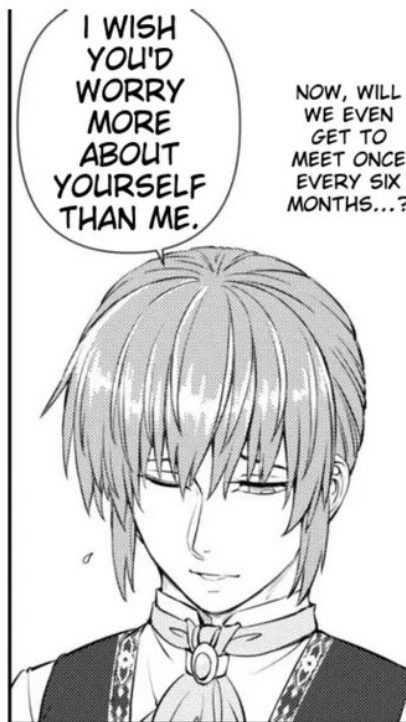


OF  
COURSE.



WHEN  
YOU  
RETURN...

REGALE ME  
WITH YOUR  
TALES OF  
ADVENTURE.



I WISH  
YOU'D  
WORRY  
MORE  
ABOUT  
YOURSELF  
THAN ME.

NOW, WILL  
WE EVEN  
GET TO  
MEET ONCE  
EVERY SIX  
MONTHS...?



EIGHT YEARS  
AGO... HE WAS  
SUMMONED TO  
THE ROYAL  
CAPITAL AS MY  
SWORDSMANSHIP  
INSTRUCTOR.



TO  
YOUR  
SIDE...

THIS  
TIME, I  
WILL  
SURELY  
COME  
BACK  
ALIVE...

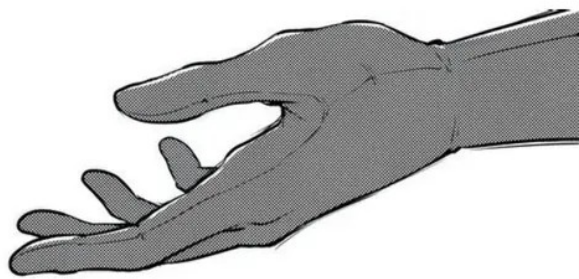








THE  
JOY  
OF  
LOVE



...WELL,  
IT  
DIDN'T  
TAKE  
LONG,  
DID IT?

TO  
REALIZE  
IT'S  
NOT  
JUST  
ABOUT  
JOY...

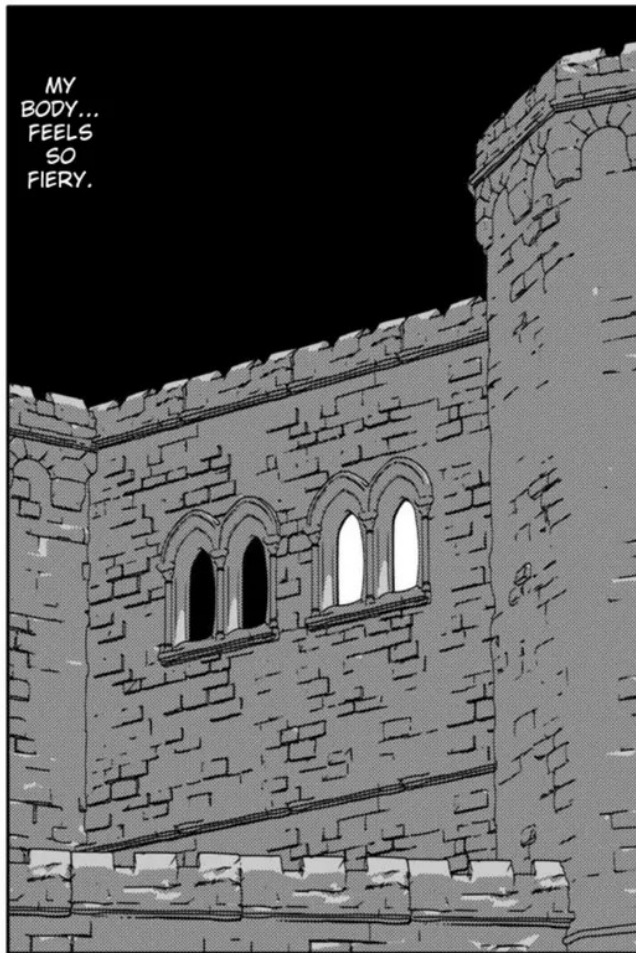




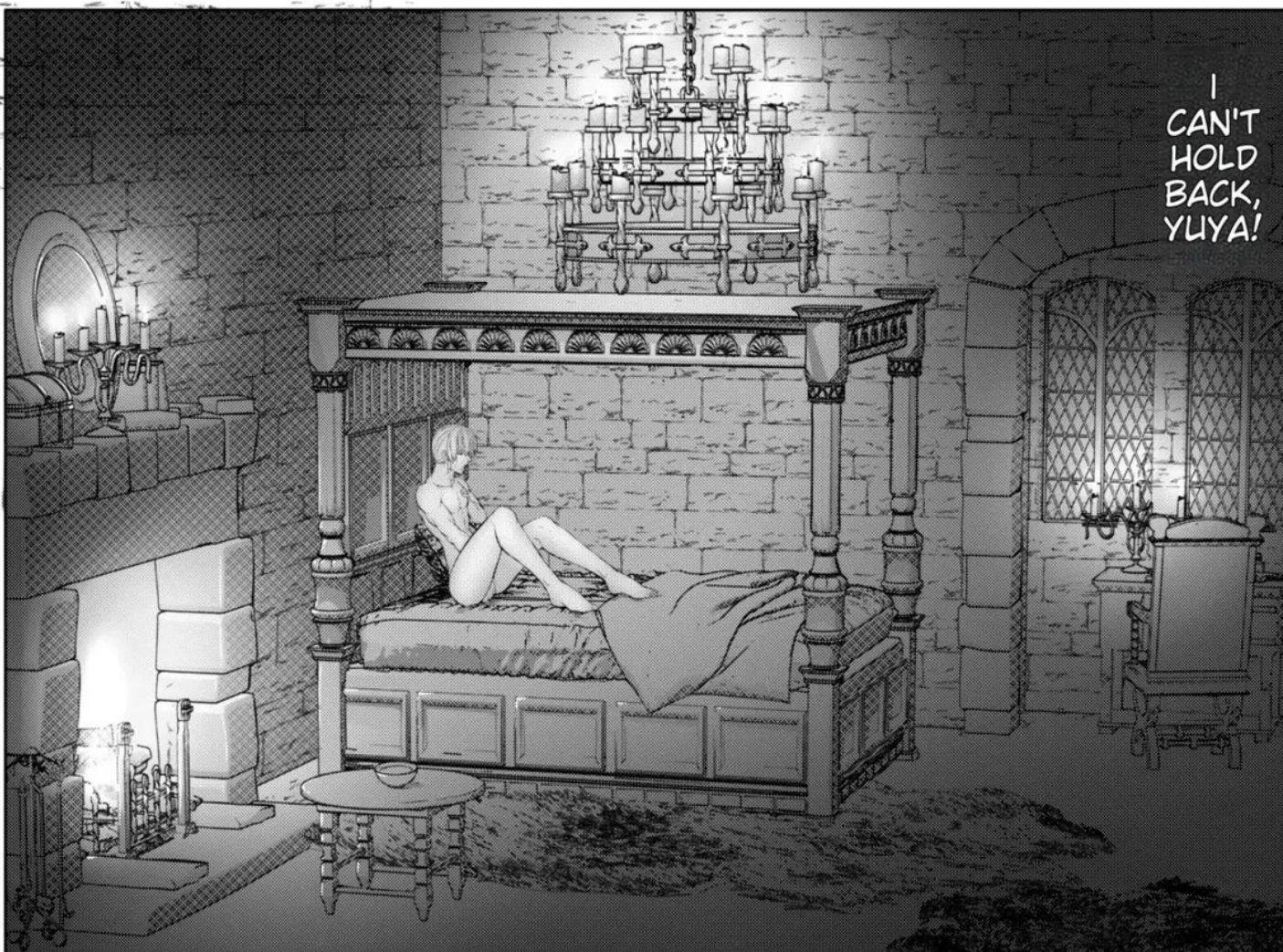
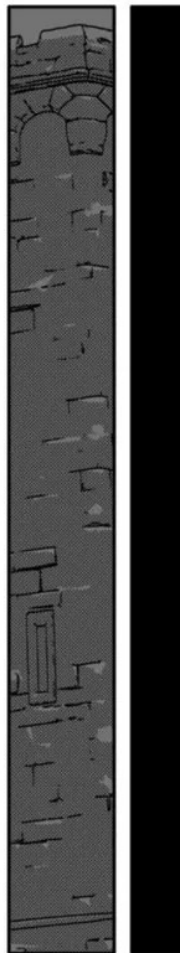
HE IS  
OFF TO  
BATTLE,  
YET...



...NOT  
LIKE  
THIS.



MY  
BODY...  
FEELS  
SO  
FIERY.

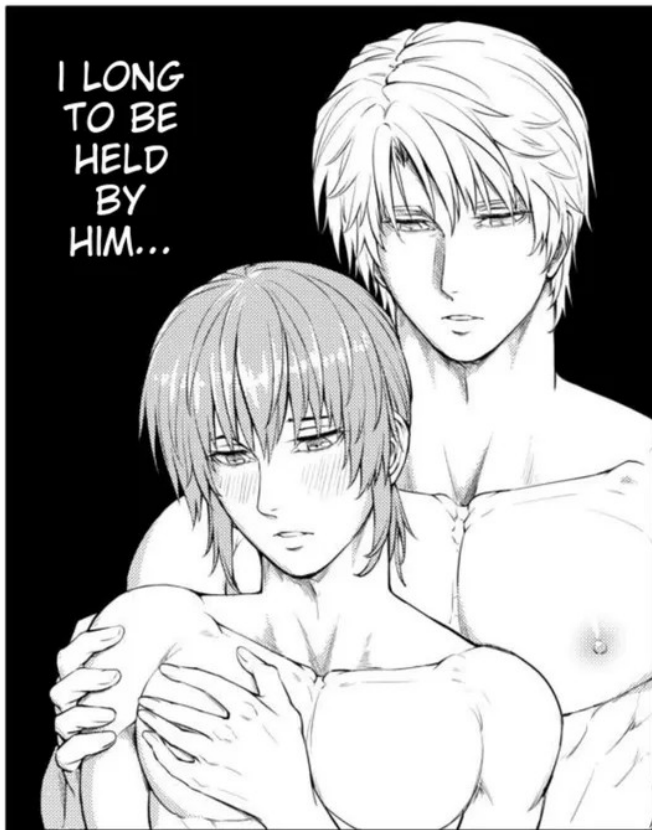


I  
CAN'T  
HOLD  
BACK,  
YUYA!









I LONG  
TO BE  
HELD  
BY  
HIM...



I WANT  
TO...  
KISS  
HIM...



REYNARD!

...I  
LIKE  
YOU.

I LOVE  
YOU SO  
MUCH...

I ADORE  
YOU SO  
MUCH...



MM!

OHHO

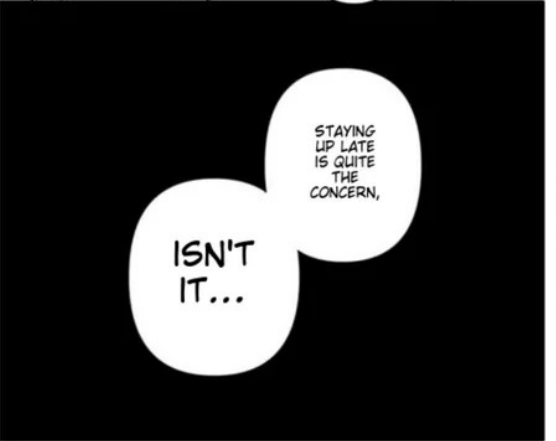
...I  
GET  
IT.

I CANNOT  
INDULGE IN  
SUCH  
WORLDLY  
AFFAIRS, FOR I  
SERVE THE  
DIVINE.

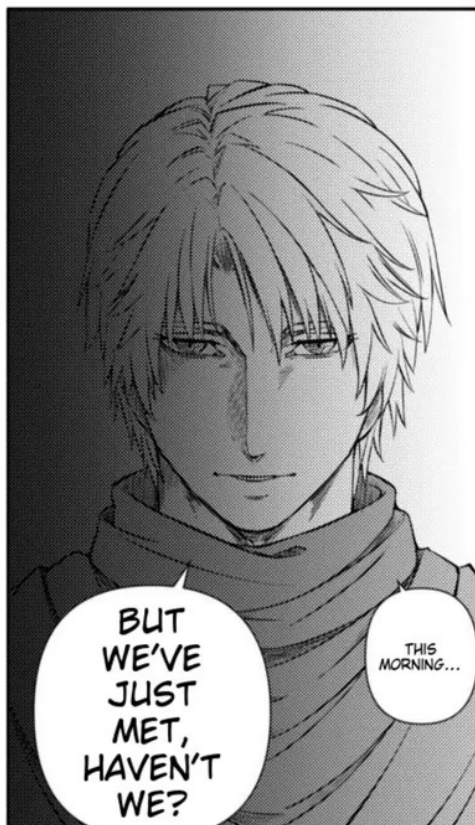
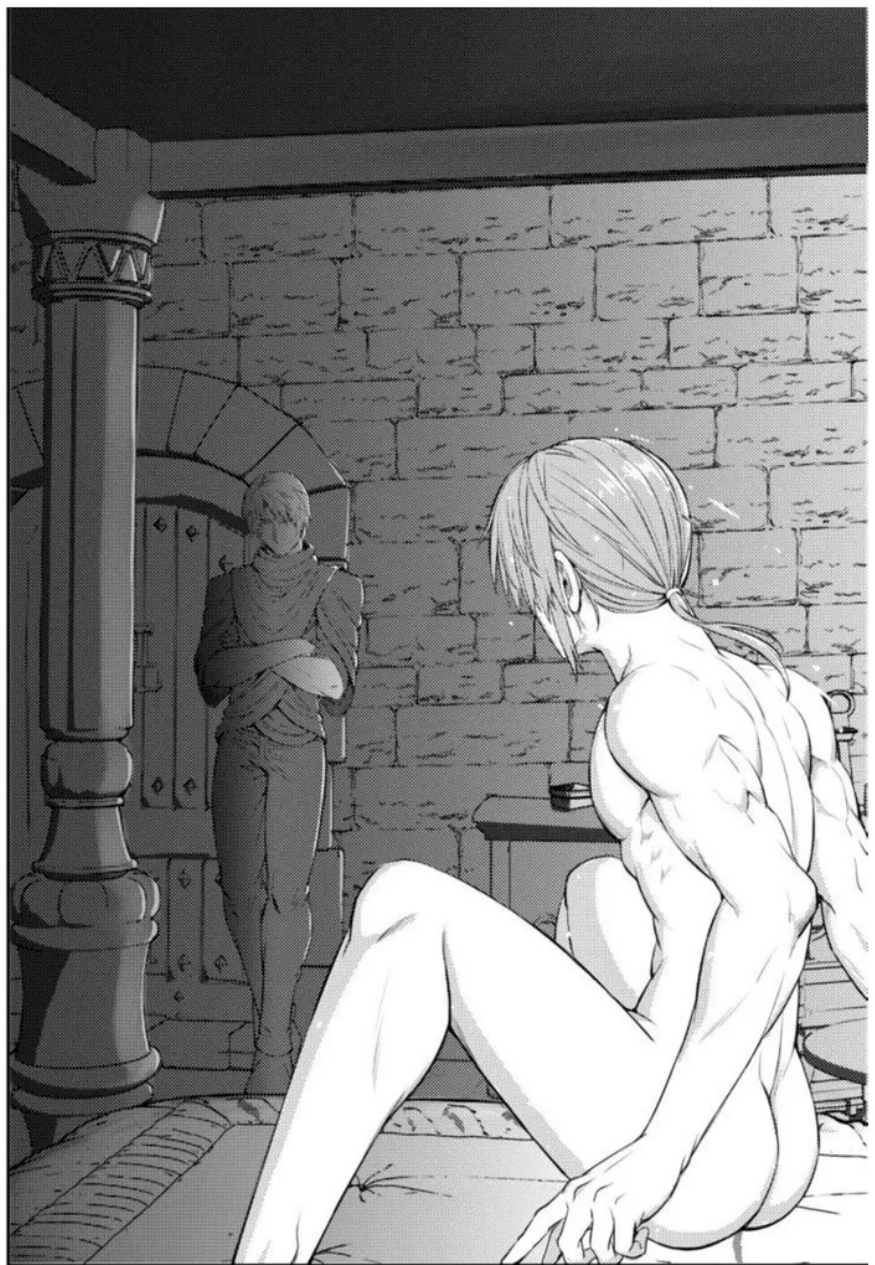
AHHO

AH!

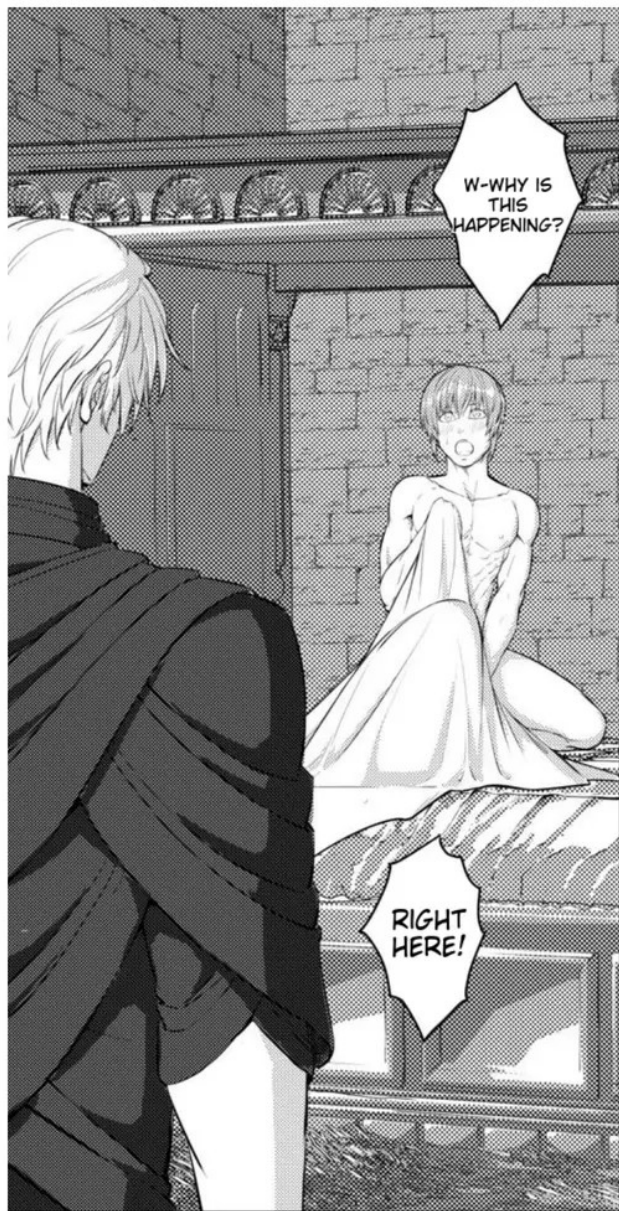












W-WHY IS THIS HAPPENING?

RIGHT HERE!

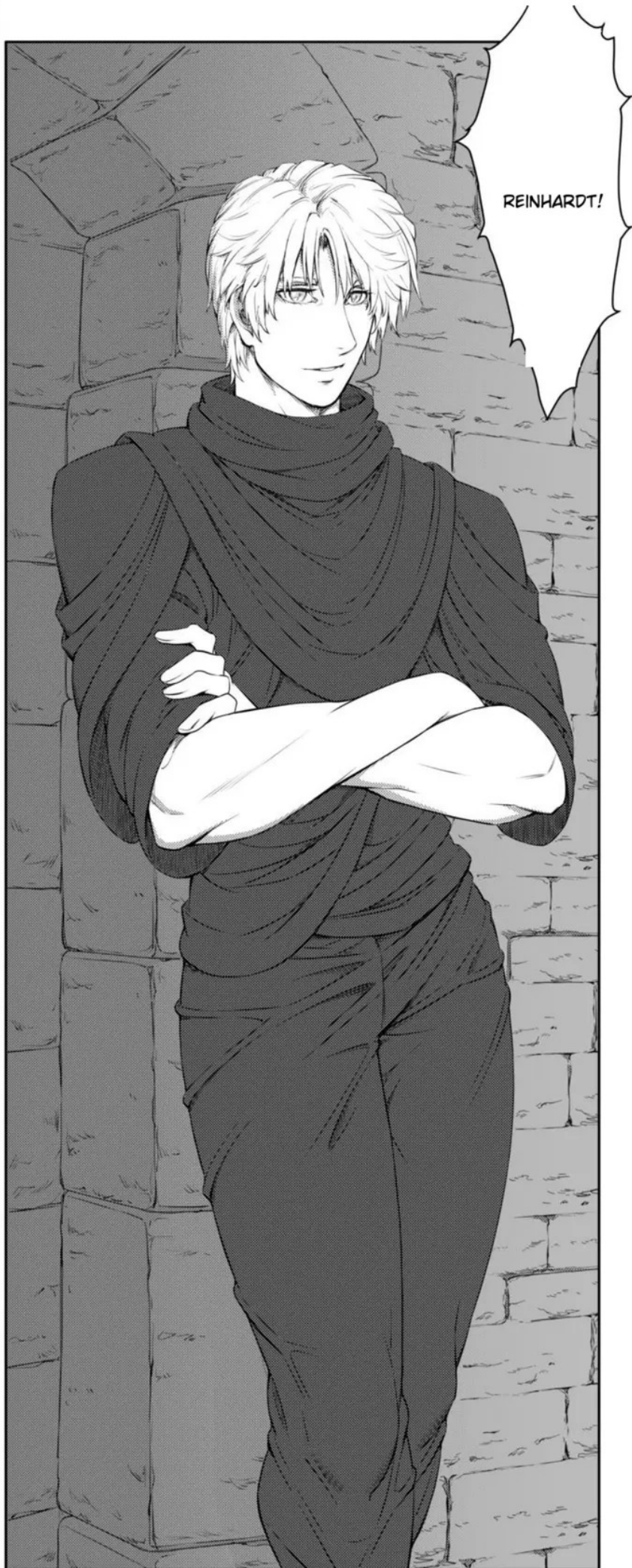


WAIT... I THOUGHT THEY WERE OFF ON AN EXPEDITION...

(ハ?)

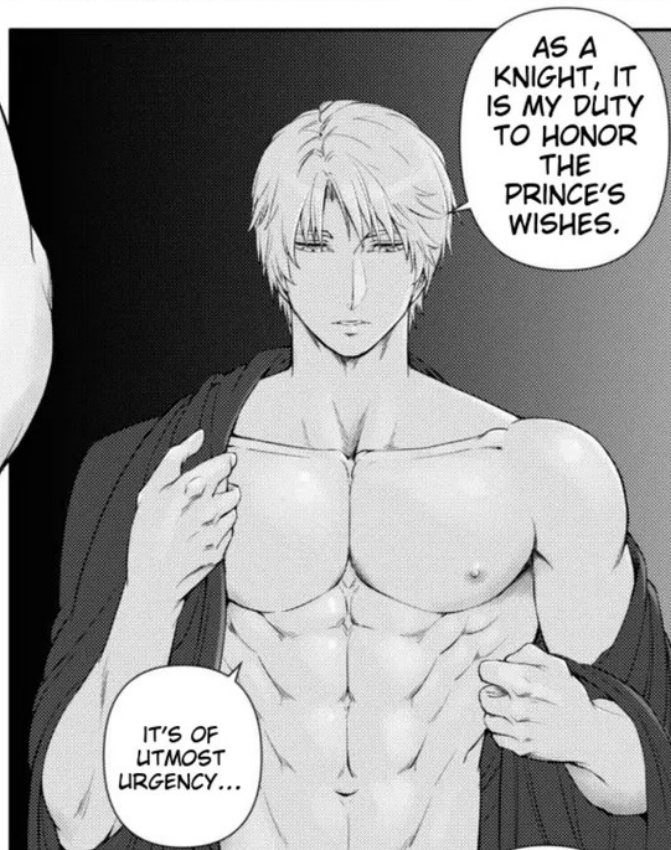
(ハ?)

THEY SHOULD BE... BUT...

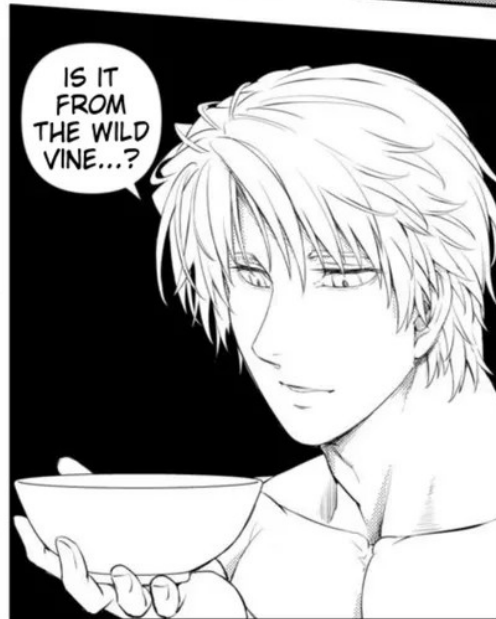


REINHARDT!





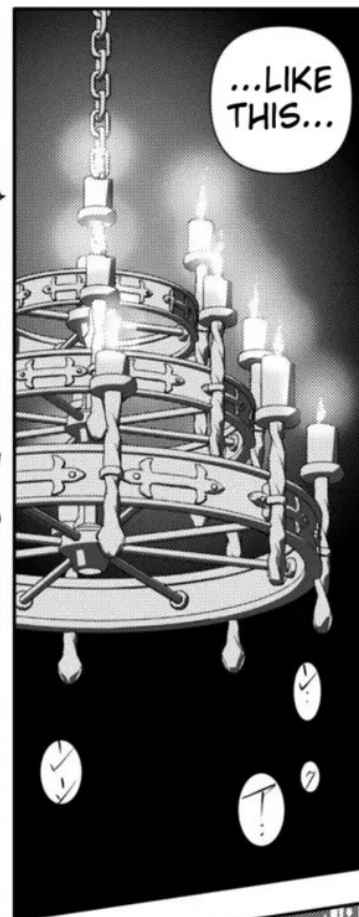


























嬉しい！  
気持ちいい

なのに何だろう？  
この違和感は…



ハ  
だけど…  
しゅごく

気持ち  
いい…



ヒヤ♡

何も…

そ…  
ダメえ

違いは  
ありません



でも…  
聖騎士が…  
こんなこと

今日の…  
あなたは

なにか  
いつもと  
違う…







如何  
ですか？

後ろから  
抱えられ激しく  
突かれるのは…

イヤ  
アッ

ハッ



まるで  
犯されて  
いるようで

こうすれば  
さらに…

気持ちよく  
なれますよ

アウウ

興奮する  
でしょう？

ウウ



やっぱり  
おかしい

そ……こお

そんなに  
……つよ……く

アッ

体が求めて……  
止められない

ン……ウ

レ……レ……  
……レ……チャ

ハ  
ア  
ア  
♡

ン……

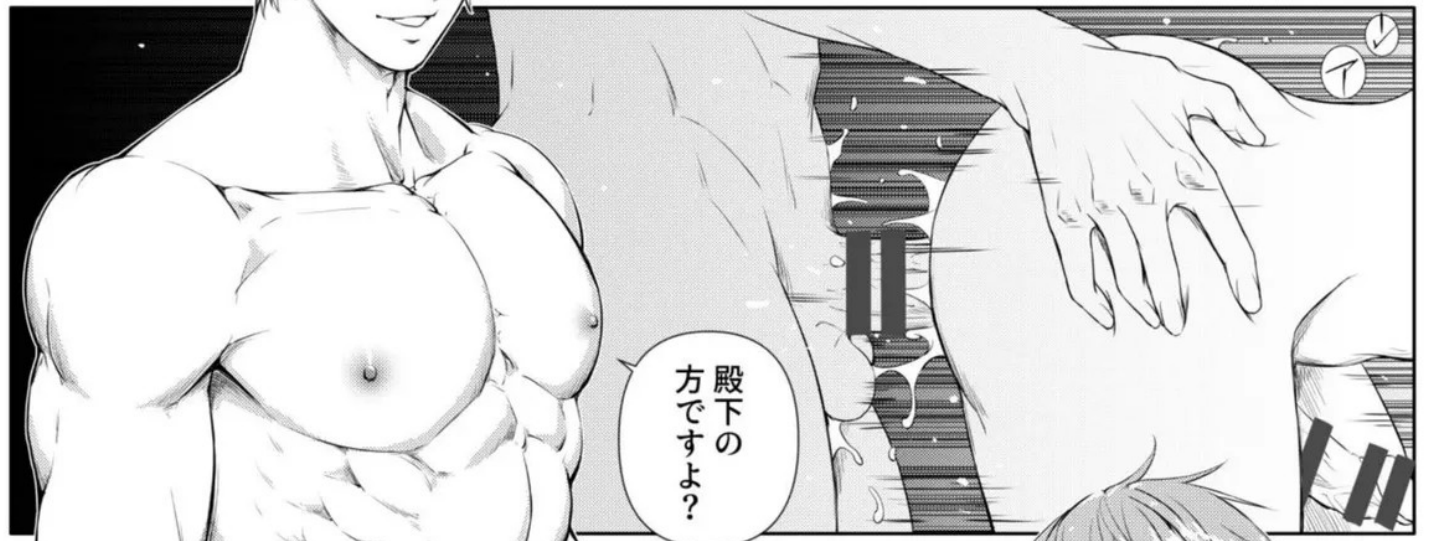
ダメ

凄くマズい  
気がする……けど

ハウ

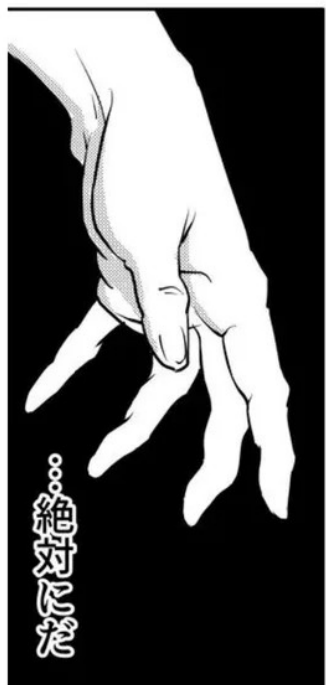
ダ……メ……エ

ア……ン











…情欲に流されて

あっ…

あう

何やってんだ  
僕は…

…この人は  
レイナードじゃない

さあ…  
今度は  
お口で…

ウウツ

ング…

ンツ





なかなかの  
演技だった  
ろう？

手薄になった  
この城にも  
楽々侵入できた



誰？



…ん？  
おやあ…

流石に  
気付いて  
きたかあ



…声が！  
ウッ

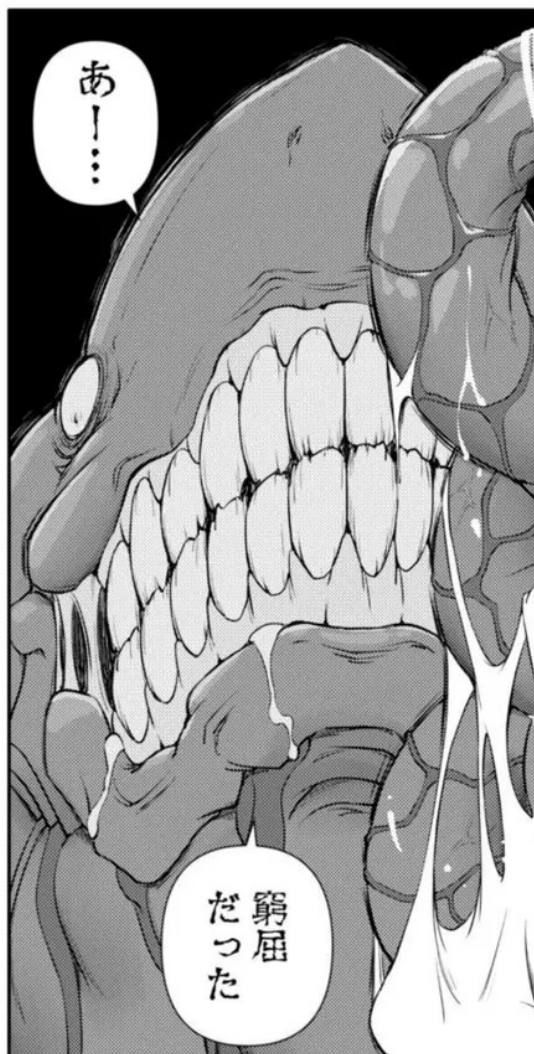
だが…  
もう遅い  
ウブツ













俺の体液を  
飲んだから  
なあ…



動けん  
だろう？

どうだあ？



これでてめえを  
好きにできるって  
訳だあ王子様あ

ひあつ

んあつ

やつ…

やめつ  
…てえ

はあうつ

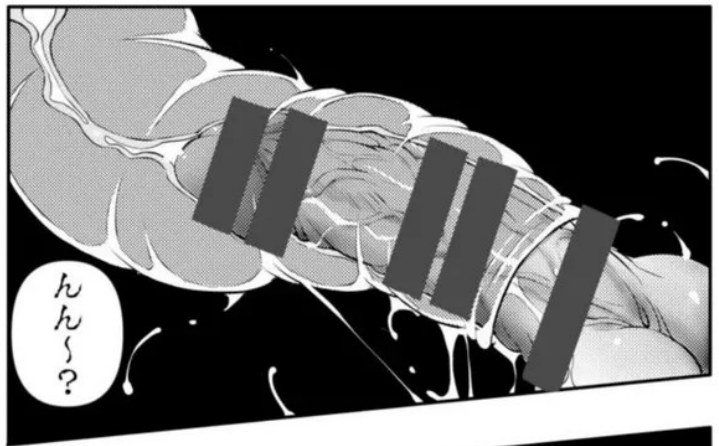
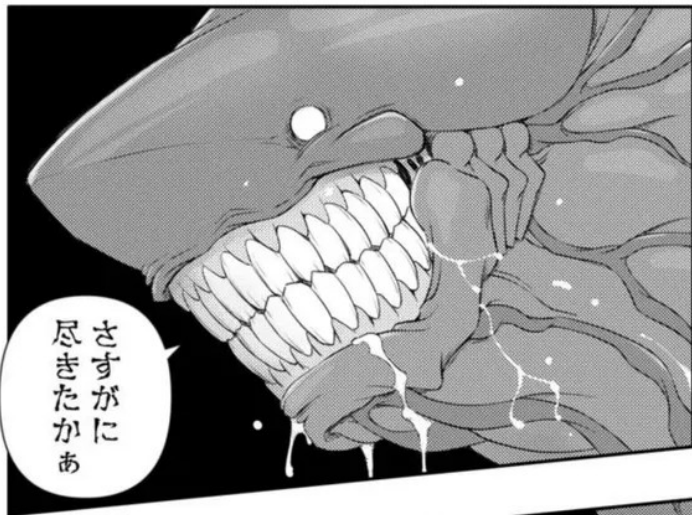
















誰がてめえの  
意見を聞いたよ  
クソガキイ

そういうのは  
好みじゃねえって  
さっきも言った  
よなあ！



や...  
めろお

そんな  
の...

でえも♪

入らな  
い...



てめえは  
黙って…

犯されて  
ろつつうの！

ガ  
アッ

ア  
ッ

ア  
アッ

ク  
アッ

今から王子様の  
腹ん中にい

魔紋を  
刻むぞえ

ウ  
ッ

そしたらてめえは  
俺が与える快樂にい

抗えなく  
なるう！

ヒ  
ギイ

ク  
フウ





まずは父王を  
殺して王位を  
篡奪…

悪政の限り  
尽くそうかあ

愛しの  
聖騎士様も

ぐちゃぐちゃに  
犯してやろうぜえ





そおれ  
魔紋があ

浮かんで  
きたぞお！



これで  
この国はあ

我が主の  
ものだあ…



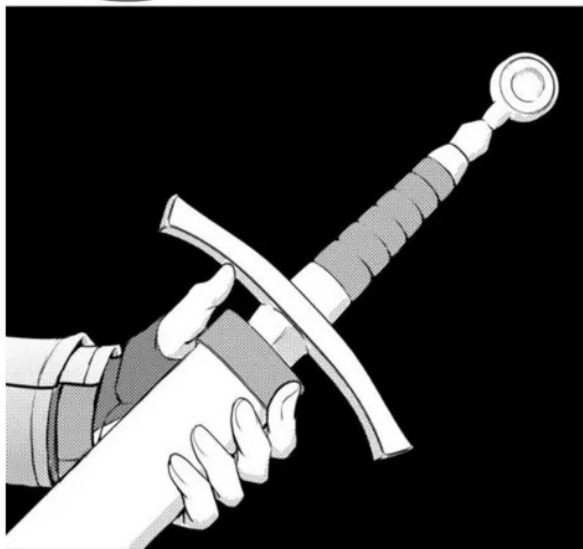




キヤハッ  
また盛大に

たのちゅ

噴き出した  
なああ！



アッ

アッ

アウウ

アウウ



とめ...て

と...め

アッ

アッ



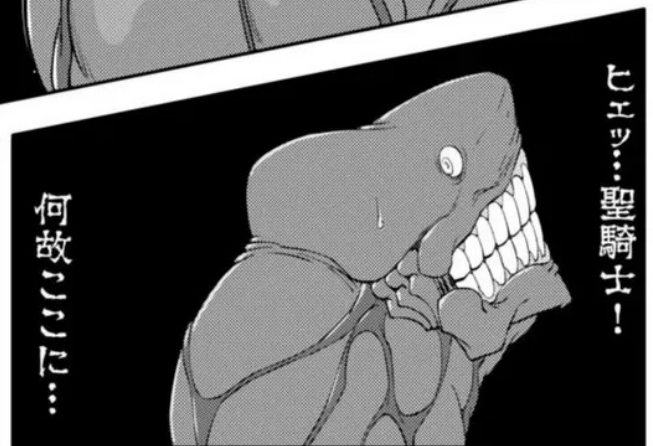
不穏な気配を  
辿ってみれば…

およう？

こういう  
事か…



薄汚い  
化け物！



ヒェッ…聖騎士！

何故ここに…

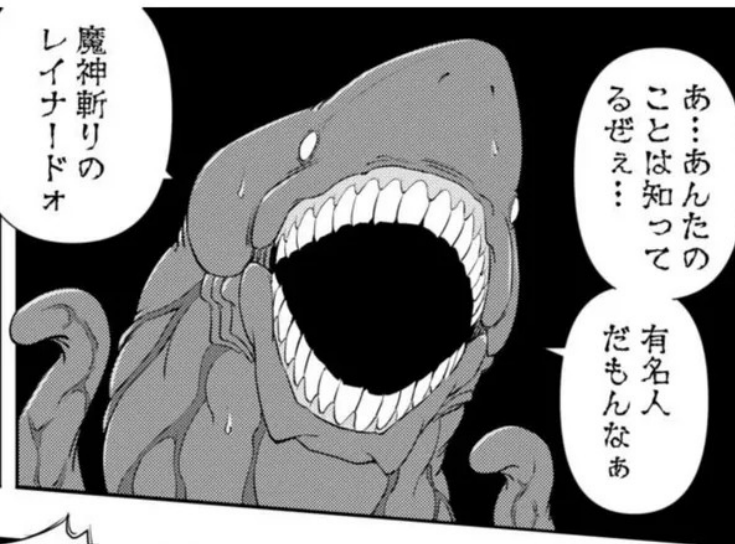


殿下を  
はなせ





そんなに  
怒んなってえ



魔神斬りの  
レイナードオ

あ：あんたの  
ことは知って  
るぜえ：

有名人  
だもんなあ



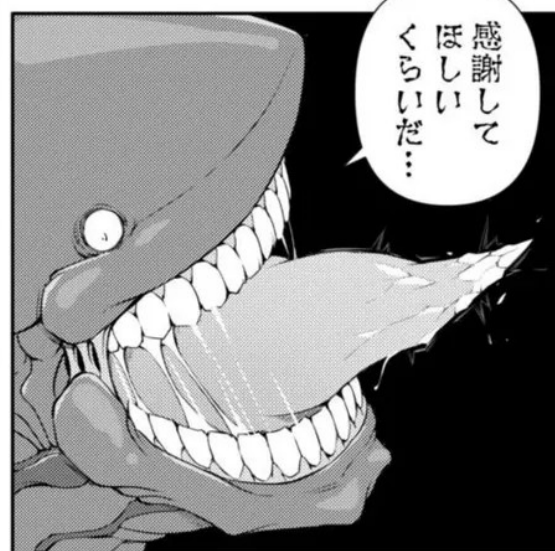
ぜッ！



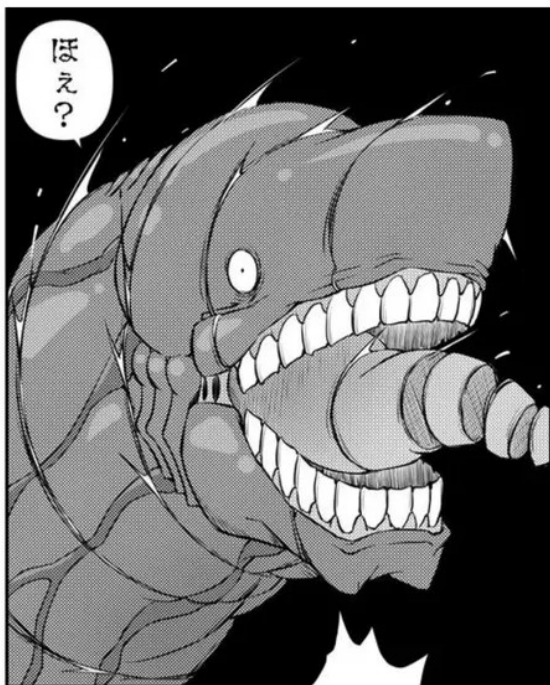
この餓鬼  
はなあ：

あんたを思っ  
てずっと一人  
で悶々とし  
ていたのさ

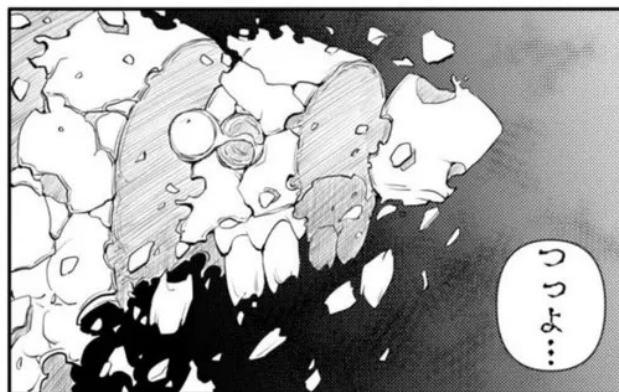
それを俺が  
慰めてやつ  
てるって訳



感謝して  
ほしいだ  
：







そいつはなあ  
レイナード



体内に刻まれた  
魔紋が暴れてるのさ

満足するまで  
その疼きは  
止まらねえよ



安心しな…  
その魔紋が  
消えるまで

俺が何度でも  
抱いてやるよ



殿下…

しばし  
お待ちを！











人が人を  
愛するは  
自然の理

ご自分を  
責めないで

薄々  
気付いてはいた

殿下にそのような  
お心があることを…

私に身を  
ゆだねて  
ください

今は  
ただ…

はう♡

そういう  
お年頃に…

あ…

んあ…

…なられたのだな













ああ…チクシヨウ

あ…はあ…  
レイナード

ア

ハ

僕のこと  
…好き?

ハ

ええ…  
好きです

ハ

ほんと?  
本当に?

あ…ん…  
もう一度  
…言って

…ええ  
ずっと  
前から

ア

ア

レ

ん…あ…  
レイナードオ

ハ

…フェリル

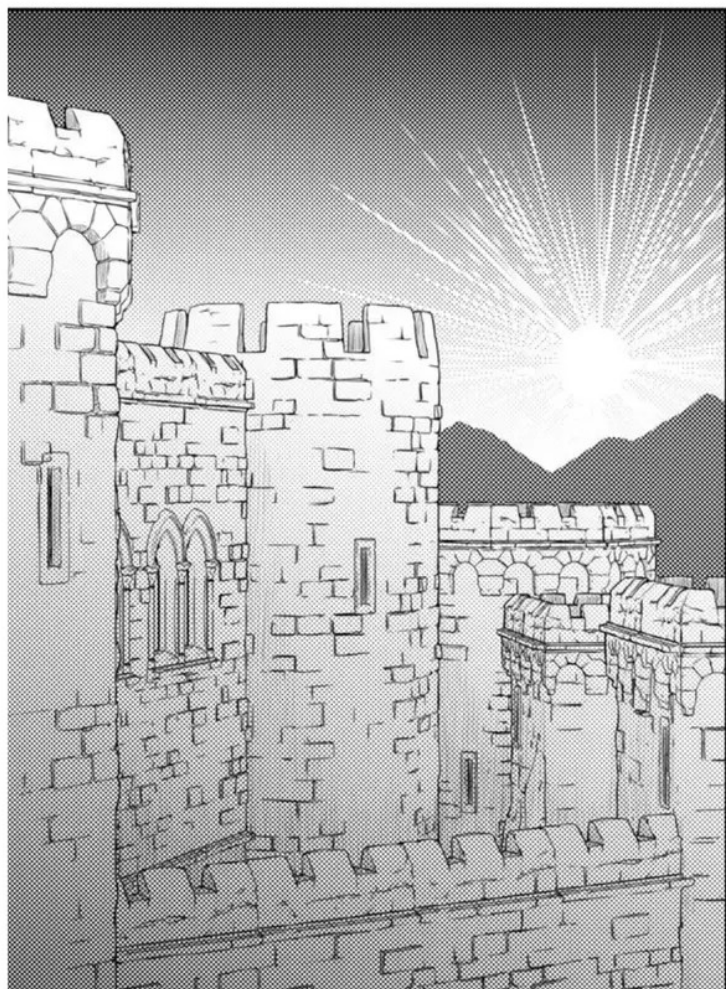
ハ

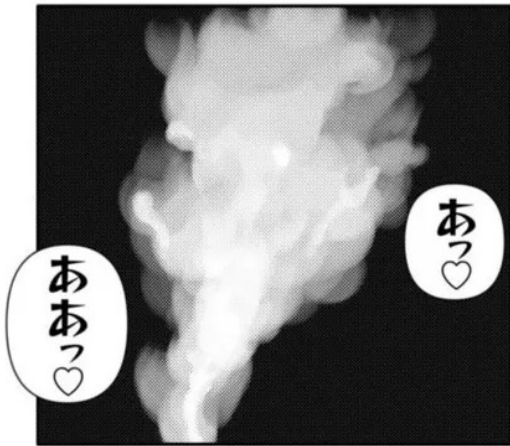
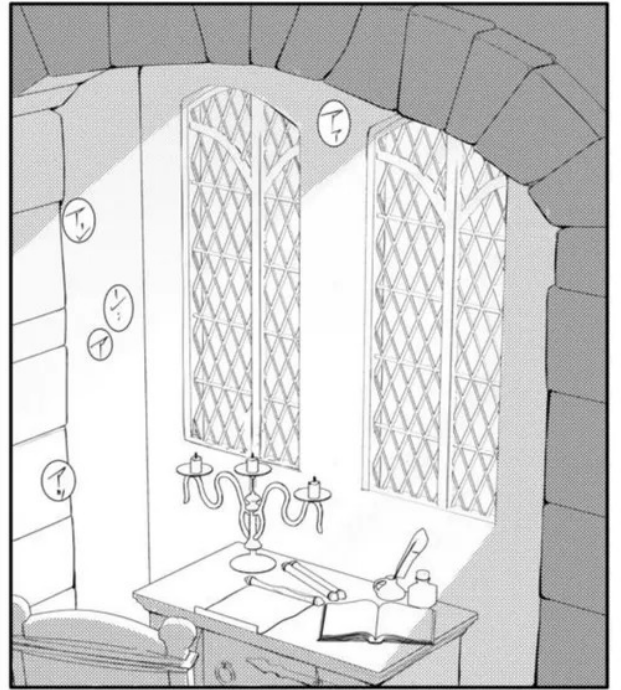
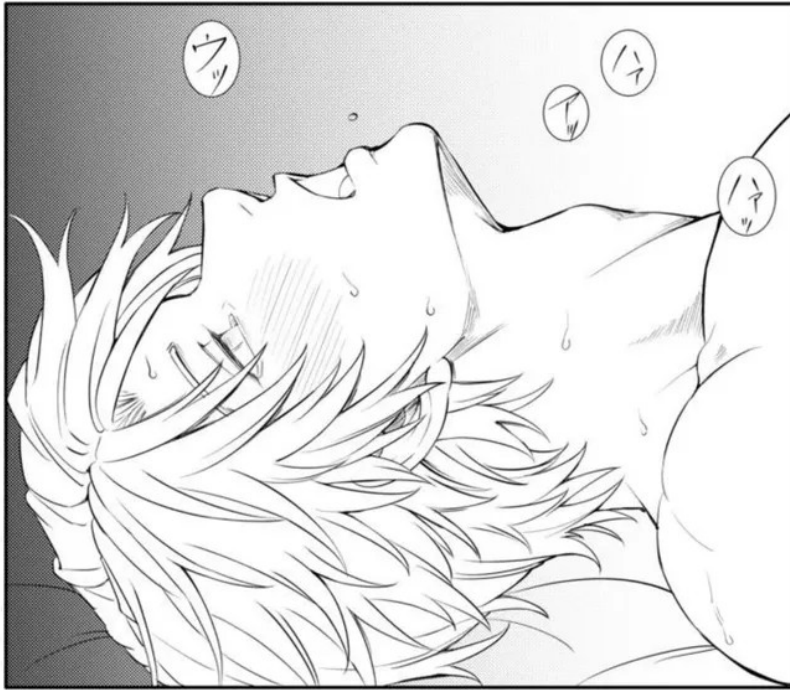
レ

フェリル

…愛おしい











陛下より叙任を  
賜ってから  
間もない頃…

私も同じ  
ような経験  
をしたのです

辺境の遺跡に  
住みついた  
ゴブリンの群れ  
の討伐

数は多いが、  
決して難しい  
任務では  
なかった…

しかし  
それは  
罠でした

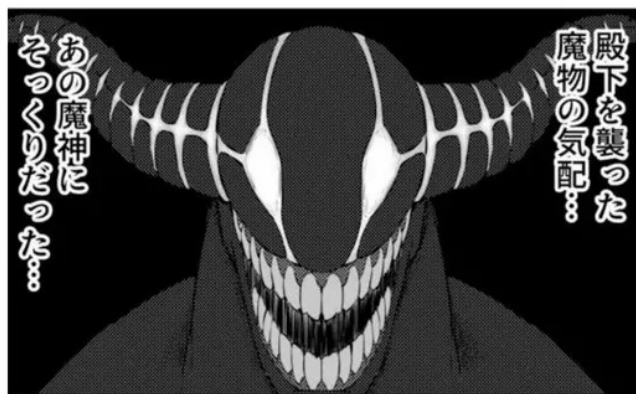
怠惰と色欲の魔神  
ベルフェゴール

かの魔神の目的は  
聖騎士の魂を墮落させ  
邪悪なる神に奉げること

奴に捕らえられた私は  
幾日も肉体を弄ばれ  
凌辱を受け続けた











ご購入  
誠にありがとう  
ございました

